



## フィラリア・ノミダニ予防トピックス 2016.4

### フィラリア予防薬 どれにしましょう?

当院でお勧めしているフィラリア予防薬には昔ながらの錠剤に加え、ノミダニ予防もできるオールインタイプのもがあります。現在はこのタイプが主流となり、当院でも2種類のお薬(パノラミス・ネクスガードスペクトラ)をご用意してあります。

パノラミス vs ネクスガードスペクトラ

- **パノラミス**は、この味キライ! という子もいます(かなり薬の臭いがします)。また副作用としてまれに嘔吐する場合があります。
- **ネクスガードスペクトラ**は ”おやつ感覚で” というふれこみ通りにかなり美味しいようです。副作用としての嘔吐もありません。ただし価格は高くなります。

効果的にはどちらも同じです。

投薬に問題のない子は昨年と同じくパノラミスを、食べてくれなかった子には新しいネクスガードスペクトラをお勧めいたします。

### フィラリア注射薬

1年間有効な注射タイプのフィラリア予防薬が発売され数年が経ちました。当院では副作用の問題等を考慮し使用を見合わせてまいりましたが、現在、主流となっている薬品は重篤な副作用の報告例はありません。年1回の注射で12ヶ月間のフィラリア症予防が可能であるため、投薬の煩わしさ、投薬忘れがなく、この利便性を考え導入を検討いたしました。以下のような理由で従来通り内服薬をお勧めすることにいたしました。

- フィラリア症の予防のみに有効であるので、月1回ノミダニ予防薬は投薬しなければならない。
- 注射薬を使える条件を満たさない子も多い。  
(接種の条件は、健康体であること・老齢でないこと・体重の増減が激しくないことです)
- 1度注射をすると、12ヶ月間に渡り薬剤が体内に留まり徐々に放出されるため、万一、病気になってしまった時の影響について懸念がある。



フィラリア、ノミダニ予防でお困りのことがありましたら、何なりとスタッフにご相談下さい。

## 猫のフィラリア・ノミ予防薬について

従来のレボリューションに変わり**アドボケート**という新しいお薬をお勧めすることにしました。

駆虫効果が持続的であること、フィラリア症予防のために配合されている薬剤の安全性が高いことが変更の理由です。

- 猫のフィラリア予防薬は投薬前に血液検査が推奨されています。すでにフィラリア症に感染している子に投薬すると危険があるためです。しかしながら猫のフィラリア症の確定診断は専門の機関に検査を依頼しなければならず、しかもその検査でも感染がわからないこと多々あります。従ってオーナー様の金銭的ご負担、猫のストレスに見合うメリットがないと考え、当院では血液検査をいたしません。ご心配な方は院長にご相談下さい。
- 近年話題になっているマダニですがこのお薬はダニの寄生は予防できません。大丈夫ですか??とのお声があるでしょう。しかし理論上は猫にもダニは寄生するのですが、実際はほとんどダニの寄生が見られません。毛づくろいをするからとも言われていますがはっきりした理由はわかっていません。ダニが多く生息する場所に遊びに行く子にご相談下さい。

## アドボケート使用時の注意

従来のレボリューションに比べ薬剤に粘り気、臭気があるように感じます。また、薬量が若干多くなります。投与のポイントは・・・

- ・ 毛をかきわけ、なるべく皮膚につけて下さい。
- ・ 舐められないような場所(肩甲骨の間)に複数個所に分けてつけて下さい。
- ・ 最低30分は本人、同居猫が舐めないように注意して下さい。人も触らないようにして下さい。

投与後、最短30分で薬剤は吸収されます。その後に残った毛のベタつきは基剤ですので無害です。

( 基剤 - 薬品を扱い易くするために加える成分 )

24時間経過したのち、毛のベタつきがきになるようでしたら、濡れタオルなどで拭き取ったあと、ブラシをかけるときれいになります。

ネコちゃんもフィラリア予防を!

